

2017年度第2四半期 決算説明会資料 ①

〔現行中期3カ年経営計画の取り組み状況と今後の方向性〕

—2017年11月6日—

京王電鉄株式会社

現行中期3カ年経営計画の取り組み状況と今後の方向性

グループの総合力を活用し、さらなる企業価値の向上を実現

< 成長に向けた土台作り >

< 確実な収穫 >

◇ 沿線拠点の活性化

- 「京王高尾山温泉 / 極楽湯」開業、高尾登山電鉄(株)の子会社化
- 「トリエ京王調布」開業
- 新宿エリアの活性化

◇ 沿線価値の向上

- 子育て支援事業・シニア向け事業の推進
「京王アンフィール国領」「スマイラス聖蹟桜ヶ丘」開業
京王メモリアル(葬祭場)出店
「京王あそびの森 HUGHUG(ハグハグ)」開業

ハード面・ソフト面の
両輪の施策により、
将来にわたり支持される
沿線づくりを継続する



(インバウンド関連の取り組み)

◇ ホテル事業

「京王プレッソイン」店舗拡大、「京王プレミアホテル」開業準備

◇ リノベーション事業

- シェア型複合ホテル「THE SHARE HOTELS」4店開業
- 民泊マンション「KARIO KAMATA(カリオ カマタ)」開業

◇ 高山エリアにおける事業展開

- 高山グリーンホテルとの提携
(中央道を中心とした広域観光ルートづくり)

◇ 海外事業

- ミャンマーへの進出準備

引き続き
重要な成長分野として、
多様化する宿泊ニーズや
インバウンド対応を
推進していく



- 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業
- 座席指定列車
- ダイヤ改正(2015年9月、2016年9月)

連立事業を推進するとともに
さらなるサービス向上により
競争力を強化する



沿線における
取り組み

成長分野の
収益基盤化

鉄道事業の安全性・
収益力向上